

社団法人  
大阪府  
作業療法士会ニュース

## 巻頭言

## 大阪府作業療法士会のこれから

副会長 古志 康則  
(市立豊中病院)

一年前の本稿で、東日本大震災のお見舞いを申し上げました。一年以上経った現在でも、復興は十分とは言えないようです。平成24年6月2日の事業報告総会でも報告されたように、リハビリテーションにおいても継続した支援が必要とされています。可能な範囲での協力を意識したいと思います。

ところで、不安定な気候の時期になっておりますが、会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。ご自愛下さい。

さて、大阪府作業療法士会のこれからということで、今回も、一般社団法人への移行について、少し触れさせていただきたいと思います。

6月2日の事業報告総会では、会員皆様のご協力により、総会成立、議事承認を得て、申請に必要な書式を整える準備ができました。

特に、総会成立において、委任状を含めて全会員の3/4以上(約1,300名)という驚異的なご理解を得たことは、感動的でありました。ありがとうございました。

後は、今回で承認頂いた、新定款と各書式をもって、法務局の確認の後、本電子申請と順次進めていきたいと考えています。

計画でいきますと、来年(平成25年)度4月に一般社団法人に移行となる予定です。その間、大阪府作業療法士会としては、事業案に沿って着実に各事業を実施していくことが、広く大阪府民の医療ならびに保健福祉に寄与することができる、最も有益的なことです。会員皆様の協力がなければ、達成し

得ない諸行であります。

一例として、先日(5月)、詳細は省略しますが、発達領域において、“大阪維新の会”への意見書について、大阪府作業療法士会からも、各団体と歩調を合わせ即座に対応を行っていただきました。役員の方々と感謝しております。会員の皆様もごく身近に、社会的アピールする場は多々あると思います。日頃からの帰属意識の高まりをよろしく願います。

そのような状況の中で、何度も繰り返していますが、来年度は、大阪府では2回目となる、第47回日本作業療法学会(平成25年6月28～30日・大阪国際会議場)を開催します。一息つく間もなく、順次事業が迫ってきております。これも、高質な職能団体としての、社会的立場の確立に向けて、果たさなければならない義務であります。内容につきましては、組織の確立とともに、順次進行中であります。前宮崎学会での視察も終え、全担当役員が、“大阪らしさ”について、思案中であります。盛り上げに、会員皆様の意識の高揚をお願いします。なお、レセプションについても、“おおさか てんこ盛り”出来るよう企画中です。参加を期待しております。

今後私も、広く大阪府民に作業療法を提供できるよう、法人の明確化と組織の充実達成に、微力ながら寄与させていただき所存です。

会費納入と併せて、皆様のご理解・ご協力をよろしくお願い致します。

## 自動振り込みに移行されていない会員の皆様へ《会費納入のお願い》

平成24年度の会費を下記の口座にご入金ください

入金確認後、事務所より会費納入シールを郵送いたします。前年度以前の未納分がある方は、今年度と合わせてご入金ください。引き続き自動振り込み手続きを行っておりますので、まだ手続きがお済でない方は事務所まで申込書を郵送してください。申込書がお手元がない方や手続きなどでご不明の点がありましたら、事務所までお問い合わせください。詳細は、ホームページにも掲載しておりますのでご確認ください。

- ゆうちょ銀行…郵便振替口座番号：00960-7-263005  
加入者名：社団法人 大阪府作業療法士会
- 他の銀行(一部を除く)やコンビニATM…  
店名：〇九九店(ゼロキューキュー店)  
預金種目：当座 口座番号：0263005  
受取人名：シャダンホウジン オオサカフサギヨウリヨウホウシカイ